

感染症 ひとくち情報

麻疹報告数が増加しています!



2019年5月8日

東京都健康安全研究センター

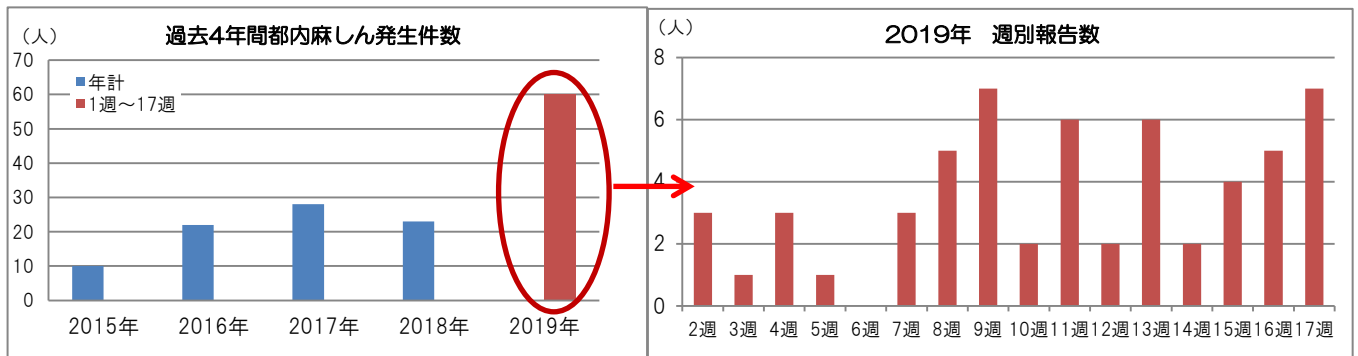
1. 麻疹とは

麻疹は、麻疹ウイルスの感染によって起こる感染症です。ウイルス感染後、約10日～12日（最大21日）の潜伏期の後、発熱・咳・鼻水など風邪のような症状を発症し、2～3日後には39度以上の高熱と発しんが出現します。麻疹は治療法が無く、対症療法が中心となります。脳炎や肺炎等の重篤な合併症を引き起こす場合もあり注意が必要です。



2. 発生状況

2019年1週から17週までの報告数は計60件で、過去4年間の各年間報告件数より既に多い報告数となっています。



3. 予防について

麻疹は感染力がきわめて強く空気感染し、1人の発病者から多くの人に感染します。有効な予防方法はワクチン接種をして免疫を予め獲得しておくことです。



4. ワクチン接種について

(1) 定期予防接種

原則的に麻疹・風疹混合ワクチン(MRワクチン)を1期2期の期間において2回接種

1期：1歳以上2歳未満

2期：5歳から7歳未満で小学校就学前1年間

(2) 定期予防接種以外

任意接種として麻疹・風疹混合ワクチン(MRワクチン)、麻疹ワクチンの接種が可能かかりつけ医とご相談ください。

麻疹が疑われた場合の医療機関受診について

麻疹が疑われる症状（発熱や咳、鼻水、目の充血、発しん等）がある場合はマスクをつけ、事前に医療機関に電話連絡した上で早めに受診してください。その際に麻疹患者との接触や渡航歴がある場合にはそのことを医療機関に伝えてください。また、登園・登校、出社等は控えてください。